

# 平成28年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成28年11月22日（火）午後2時から3時30分  
場 所：鳥取県庁第2庁舎4階32会議室

## 1 議事

### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸ごとに説明。

[対象海岸：岩美海岸（陸上地区、浦富地区）、千代川右岸、千代川左岸、気高海岸、青谷海岸]  
<会議での主な意見>

意見) 千代川左岸漂砂系について、汀線が後退している箇所があるということであったがどのような状況か。

回答) 突堤の西側付近で、激しく汀線が前進・後退を繰り返している状況。突堤による影響、千代川からの土砂供給の減少等が一因であると考え、今後なんらかの対策が必要かと考えている。

現対応状況：平成29年3～6月にかけて、鳥取港の浚渫土砂（12,000m<sup>3</sup>程度）を同漂砂系内にサンドリサイクル実施。

### (2) 各管理者の土砂管理への取組

#### ■ 岩美海岸（陸上地区、浦富地区）の侵食対策について（鳥取県土整備事務所）

- ・近年、高波浪の襲来などで、砂浜が前進・後退を繰り返し、浜崖等による浸食被害を受け、施設の被災、美しい景観が損なわれるなど、安全・安心の海岸利用ができない状況。
- ・浜崖については応急対策として、大型土のう（黒色）にて対応しているが、景観面、費用面等に十分に配慮されたものとなっておらず、新たな「浜崖後退抑止工」の導入が望まれるところ。
- ・まずは観光・海水浴で賑わい、浜崖等侵食被害が特に顕著である岩美海岸（陸上地区、浦富地区）について、先行して検討を進めていきたい。

現対応状況：平成29年8月に岩美海岸浜崖後退抑止工検討会を開催し、陸上地区においてサンドバック工法の試験施工を実施することとなった。

#### ■ 青谷海岸（井手ヶ浜）の侵食対策について（鳥取県土整備事務所）

- ・井手ヶ浜地区は平成20年頃から汀線が後退し、平成24年頃から浜崖が発生している状況。特に、平成26年12月の冬季風浪では、大規模な浜崖が発生した。
- ・当地区は「鳴り砂」の海岸であることから、養浜土砂についてはその性質等に配慮しながら慎重に対応していく必要がある。
- ・今後はモニタリング等を実施し漂砂メカニズムを解明していくと共に、各管理者と連携して、継続的にサンドリサイクルを実施していくことを目標としている。

現対応状況：鳥取県土整備事務所にて、関係者と調整しながら、平成29年中を目途に7,000m<sup>3</sup>の陸上養浜を実施予定。

## 2 その他

#### ■ S I-C A T（気候変動適応技術社会実装プログラム）の取組について

- ・地球温暖化の影響によって、今後、台風・集中豪雨の災害リスクの増大が避けられない状況。
- ・S I-C A Tは全国の自治体における気候変動適応策の検討に活かせるように、予測技術や適応策の評価を可能とする技術を開発し、社会実装の実現を図ることを目的として文部科学省が公募したプロジェクト。その中のモデル自治体として鳥取県、社会実装機関として鳥取大学が参画している。
- ・当取組みにより海岸で将来的に発生しうる課題（波浪、汀線の変化等）の抽出を行い、適応策の検討していく予定。